

＜社会福祉法人南知多町社会福祉協議会 様＞

上映日：2026年03月29日（日） 場所：南知多町総合体育館サブアリーナ（愛知県知多郡南知多町）



理想論でいい。「理想を持って福祉と向き合う大切さ」を考える機会となりました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

高齢化が進む当町で、令和6年度に「ケアニン～あなたでよかった～」を上映し、認知症や認知症の方を支える家族や地域について知っていただく機会となりました。

福祉敬老フェアでの上映により、普段関わりのない方もご来場くださいました。その流れで、令和7年度も続編を上映し、次は「施設」という目線で皆さまに知っていただく機会になると良いと思い開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

南知多町社会福祉協議会の地域福祉・相談支援係職員及び法人運営・総務係職員です。

●資金はどのように捻出しましたか？

赤い羽根共同募金配分金を活用し開催しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

回覧板やチラシ配布、HP・SNSで周知を行いました。特に回覧板や口コミ、高齢者サロンでの周知が効果的でした。

●今回の活動を通じて、地域作りに繋がったエピソード等があれば教えてください。

町外の方の参加、また、普段社協の事業や催しに関わりのない方の参加もありました。上映前に社会福祉協議会の事業紹介の動画を流し、町内に社会福祉協議会があるということを知ってもらいきっかけとなったと感じています。また、来場者の方に「認知症サポーター養成講座」の開講をお勧めする機会ともなりました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

【当日の様子】

介護の経験のあるご家族や実際に介護のお仕事をされた経験のある方の参加もあり、様々な視点で映画を鑑賞されていたように感じます。また、鑑賞された方の年齢層も高めであったため、自分が認知症になったら...という「自分事」として鑑賞されていた方もいました。福祉上映会の目的の一つは「ふくし」を身近に感じ「自分事」として考えていただくことです。ケアニンの上映でその目的を達成できたと感じています。

【開催の感想】

「できない理由を考えるのではなく、できる方法を考えよう」といった趣旨の主人公のセリフは私自身のモットーでもあるので、大変響きました。また、鑑賞された方から「理想論だね」という言葉もいただきましたが、実際、福祉の仕事はどんな業界よりも理想を持って取り組んでいくことが大切と思っていますので、今回のような内容は、福祉職の皆さまにも是非見ていただきたいと思いました。福祉職が大切にしている理想や価値観が、社会の中でより広く理解されることを願っています。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

ケアニンを上映しようと決められた時点で、既に素晴らしいと思います。住民の皆さま、福祉職の皆さま、現在介護中の皆さま...色々な方に見ていただきたい内容でした。どのような属性の方にも響く内容だと思います。これからも、たくさんの方にケアニンを鑑賞する機会ができるとよいと思います。

ご担当者：山下李恵さん